

ボローニャ大学交換留学月例報告(5月分)

文化政策学部 国際文化学科 4年 恒枝碧

Buongiorno! 国際文化学科 4年の恒枝碧です。こちらは昼間の空の青さが際立ち、夜は午後9時ごろまで明るくなってきました。日がすごく長いので時間の感覚が狂ってきていますが、日が長いことが夏のヨーロッパの良さのひとつでもあると思います。

【Il matrimonio in Italia 人生初結婚式】

5月の下旬に友人のお兄さんの結婚式に出席してきました。友人から「今度結婚式あるけど碧も来る？」と誘われ、一度も会ったことのない友人のお兄さんの結婚式にノコノコと出席していいものかと少し迷いましたが、友人が「この前碧も呼んでいいか聞いたらOKもらったよ」と二つ返事で承諾されていたので喜んで出席してきました。日本では幼いころに一度結婚式に行ったことがあるらしいのですが何も記憶にないので実質人生初結婚式をイタリアで迎えました。イタリアでは教会かコムーネ(役所)で結婚式を挙げるのですが、今回は教会での結婚式でした。キリスト教のミサ形式で式が進むため、神父様のお言葉から讃美歌、誓いの言葉、お祈りまで初めて見るキリスト教の慣習はすごく新鮮で同時に宗教文化の根深さを感じました。式のあと、アグリツーリズムのレストランに向かい、みんなで昼食を食べたのですが、これもおそらく日本の形式とは違うと思います。披露宴パーティーのようなものですが、特に司会がパーティーを進行したり、友人挨拶があったり、思い出ビデオが流れることはありません。席に着くや否やとりあえず前菜のバイキングを食べ始め、DJが音楽を爆音で流し始め、食べるか歌うか踊るか途中で新郎挨拶が入るかのどれかです。正午ごろから食べ始め、すべての料理を食べ終わるころには17時ごろになっていました。なんの前触れもなくケーキが運ばれてきてゆーっとケーキ入刀が始まったり、外でのんびりしていると突然ブーケスが始まったりと、すべては新郎新婦の気分でお祝いが進んで行きました。イタリアの家族の形をこの目で見るのができ、イタリアで結婚式に出席できたことは本当に幸運なことで幸せな日となりました。



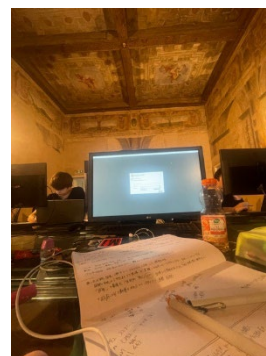
【ボローニャ FC チャンピオンズリーグ進出】

ボローニャにはボローニャ FC というサッカーチームがあり、今年このチームが 60 年ぶりにヨーロッパのチャンピオンズリーグに進むことになりました。それを祝して、ボローニャの一番大きな広場 Piazza Maggiore では盛大に祝福の祭りが行われていました。夜に広場の地下の映画館で映画を見た後外に出たら、広場全体が赤く光っていて、民衆が大声で歌っており、サッカー文化の深さを身をもって体感しました。その一週間後には正式(?)な祝福イベントを広場で行っており、約 4 万人のボローニャFCファンが広場に集まって飲んで歌って楽しんでいました。サッカーのイベントとなると大盛り上がりするのはやっぱりイタリア人らしいですし、騒ぎ方が日本の常識の範囲外でそれが普通であることにとても面白さを感じが楽しかったです。



【語学学校の終了】

5 月末に語学学校の筆記試験と口頭試験がありました。筆記試験は長文読解や文法問題、リスニングなど、前回のクラスからレベルも上がったぶん、内容も難しくなっていました。口頭試験はプレゼンテーション発表で、「ボローニャの街を初めて訪れた留学生にこの街を紹介する」というテーマで皆がそれぞれプレゼンテーションをしました。今回の語学学校は前期に比べてより多くの文法と言葉の言い回しを習いました。その分、単語の難易度も上がり、クラスメイトのイタリア語力も平均して高いので、それについていくことが大変でもあり楽しかったです。ペアワークのときにはワークが終わって時間があると雑談をしながら相手の国のことを知れたり、新しい友人を作れたり、新しい出会いもありました。自分の語学力に自信がなくなることも何度かありましたが、それでも語学は話さないと上達もしないので、イタリア人の友人と話しながら課題をやったり、授業終わりに語学学校の友人と途中まで話しながら帰ったりと、できるだけ多くの時間をイタリア語に触れる機会を持つようにしました。



↑ 大学図書館で勉強することもよくあります。天井画の装飾がすばらしいです。

卒論研究も同時に進めているため、資料集めで日本語の文献を読むことが多く、それに伴いイタリア語力の停滞もありましたが、ひとつひとつやれることをやるしかありません。

現在は普通の賃貸に住んでいるため、退去するためには次に入る住民を見つけなければなりません。日本ではありえないですが、イタリアではよくあることで私の部屋に住みたい人が直接私に連絡をしてきて内見が何件か入りました。ボローニャは空き部屋を見つけるのが難しいので部屋探しは皆必死です。6 月は旅行もしながら友人たちとの時間も大切にしながら、残りの留学生生活を有意義なものにしていけます。